



横浜農と緑の会

# はま農楽だより No. 45

(H30年 2月発行)

会員の皆様、お元気でお過ごしのこととお慶び申し上げます。平素は、“はま農楽”へのご支援を賜り有難うございます。今回の「はま農楽だより」は、平成 29 年度を振り返り活動報告をして頂きました。

## 平成 29 年度 “はま農楽” の活動を振り返って

代表 干川 純

平成 29 年度は「トリプル E でつながる “はま農楽”」をスローガンに活動してまいりました。今年度を振り返りますと、運営委員会の組織及びイベントの見直しを行いました。

組織の変更につきましては、当初の変更した目的を達成出来ているとは言えませんが、来年度が変化の年になるよう期待したいと思えます。

イベントは今年度中止した“秋の視察研修会”についてアンケートを実施した結果、実行委員に 2 名の立候補があり、来年度は復活することになります。

新しい試みとして、“はま農楽”の活動に活かす為の人材登録をお願いして参りました。応募人数が少ない状況ですが、来年度も募集活動を行いますので皆様の協力を宜しくお願い致します。

収穫感謝祭の懇談会において、フォローアップ研修について皆様の貴重な提案を頂き、運営委員会で検討した結果を 1 月の通信で「収穫感謝祭における懇談会の報告」としてお知らせ致しました。来年度も皆様のご協力を頂き、楽しみながらスキルアップできるようなフォローアップ研修にしたいと思えます。

援農・緑化ボランティア活動は「はま農楽通信」でお知らせしていますが、各農家からの援農希望が増えています。しかし、せっかく援農依頼があっても残念ながら全部には対応出来ていません。今後の課題として残りますが、皆様の提案及び協力を宜しくお願い致します。

## 援農・緑化ボランティア 10ヶ条

1. 気持ちの良い挨拶をしましょう。(お早うございます。こんにちは。お先に失礼します。・・・)
2. 作業のしやすい服装でしましょう。(ケガ、作業効率を考えて・・・)
3. 私語はつつしみ だらだらした作業は止めましょう。
4. 援農先の園主の考えで作業しましょう。(自己流、マイペースは避けましょう。)
5. 他の農家の情報は、質問された範囲で最小限にとどめましょう。
6. 個人情報・農家情報の扱いに最大限の配慮をしましょう。
7. 持参した弁当・飲み物のゴミは、自宅に持ち帰りましょう。
8. 使用した道具は、きれいにできてきちんと元のところに戻しましょう。
9. 作業時間を守りましょう。
10. 休みの予定は、なるべく早く連絡しましょう。

# “はま農楽” イベントの活動報告

## 農と緑のふれあい祭り

平成29年11月3日（金）に環境活動支援センター、横浜市児童遊園地、こども植物園を会場にした「農と緑のふれあい祭り」が開催され、“はま農楽”会員55名のご協力を頂き楽しく参加しました。

“はま農楽”のブースは子ども野菜収穫体験（長ねぎ・落花生）とハーブティー・リース販売・リース作り、そして野遊び工房（紙鉄砲・どんぐり細工）またセンターの野菜収穫販売の手伝いも行いました。

### <子ども野菜収穫体験>

子ども野菜収穫体験の長ねぎは天候の影響で発育不良（細い）状態でしたが、例年のごとく、根強い人気があり大勢の参加者が順番待ちの中、ワクワクした会話を沢山聞きました。

また、長ねぎや落花生の収穫体験では子ども達の歓声が多く湧き上がる中、親御さんの歓声も同じ程度聞こえておりました。

落花生の収穫では多の方が土の中から出てくる落花生を見て驚いている様子でした。親子で楽しい時間が共有でき、周りの私たちもアットホームな気持ちになれば、このような場所を提供できた喜びを感じました。



### <ハーブガーデン>

ハーブガーデンでのハーブティー・リースキット・リース完成品などの販売やリース作りの全てが好評でした。

自然の中（屋外）でのハーブティーはいつときの至福を感じました。

リース作りでは親子の参加に思わず写真に収めたい風景でした。

リースキットはメモを取りお買いになる姿が印象的でした。

花班の事前準備の大変さと美しいものを作る心の豊さを感じました。

### <野遊び工房>

野遊び工房は出店場所が「本館前」で大変人通りが多い場所でした。

#### ●紙鉄砲

作るまでの楽しさと、作った後の的当てで2度楽しめる工房でした。

的当ての始めは要領が解らず苦戦していても一度つかむと的のド真ん中に当てて喜ぶ姿が印象的でした。

#### ●どんぐり細工

どんぐりを加工してコマにしたり、やじろべえなど親子で楽しめる工房でした。

事前講習会などの実施効果を期待して今後ともご協力よろしくお願い致します。

# 収穫感謝祭

平成 29 年 12 月 13 日（水）に環境活動支援センター実習展示場で行われた「収穫感謝祭」は会員 44 名、センター職員 1 名で盛大に行われました。

## 一部（参加 41 名）

### 1. はま農楽 FU 研修の活動報告

各リーダーから平成 28 年度／29 年度の活動報告を行いました。

＜果樹班：千川＞

平成 29 年度は支援センターでの研修回数が前年度 4 回から 14 回と大幅に増加した。

＜花班：市村＞

FU 研修の参加者が少なく、参加しやすい研修をめざします。

＜野菜班：井戸＞

新規に栽培した作物としては“パン用小麦”と“超大粒のラッカセイ”との報告がありました。

＜二次加工班：浅野＞

平成 28 年度／29 年度は同じ活動内容でしたが、ルバームジャムは材料確保ができず中止しました。（残念！）

### 2. 懇親会

●FU 研修に新会員の参加が少ないのが気になる。

●FU 研修がマンネリ化している。

●毎年のアンケート（援農等のアンケート）が反映されていない。

上記をはじめたくさんのご意見を頂き、今後の運営委員会で対応を検討致します。

### 3. “くじ引き” 収穫物等のお持ち帰りの品々

●横浜市環境局より提供頂いたシクラメン・多肉植物・千両・万両・の鉢の抽選

●ブロッコリー・長ネギ、里いも、白菜、ドライフラワーなどの抽選とおみやげ

●小麦の販売も同時に行いました。



## 二部（参加 32 名：二部のみ参加 3 名）

### ミニ門松作り

ミニ門松作りは材料（孟宗竹、真竹、稲わら、もみ殻、シュロ縄等）の入手が難しく準備等に苦労しますが、今回、酒巻様のご尽力により準備できました。

講師を担当頂いた 宮田様、丹羽様、澤路様、瀬山様のご指導のもと参加頂いた方々の作品が徐々に出来上がり年越しを迎える準備ができる喜びを感じました。



広報 三沢記

# はま農楽 各班からの活動報告

## <花班>活動報告

- 研修日：水曜日の午前中

32日 (2017.4から2018.1まで)

- 参加者：約15人

延べ212人 (2017.4から2018.1まで)

- 研修内容：

### ① 種の選択から播種、ポット上げ、圃場や花壇への定植

ビオラ、ネモフィラ、マリーゴールド、百日草、ラグラス、ルピナス、ヘリクリサム、キセランセマム、スターチス、ニゲラ、美女ナデシコ、トウガラシ、千日紅、日本小菊、カナリアナス、ケイトウ、コスモス、トウモロコシ(グラスジェムコーン)、ヒマワリ、ワタ

- ・キセランセマムの発芽が非常に悪かった
- ・スターチス、トウガラシ、千日紅、ヘリクリサムは収穫が追いつかない程よく咲いた
- ・初チャレンジのカナリアナスは、残念ながら収穫1個(これはとてもがっかり！)
- ・ルピナスは暑さのせいか圃場での成長が悪かった
- ・ワタの播種時期が遅れ、ふれあい祭りに収穫が間に合わなかった

### ② 花壇のデザイン、管理

ビオラ、ネモフィラ、マリーゴールド、百日草、美女ナデシコで花壇を飾った

### ③ 圃場の管理、花の収穫とドライフラワー作り

良く耕し栄養の行き届いた圃場は、雑草との闘い

### ④ 収穫した花の加工、ふれあい祭りへの出店

ラベンダースティック、ドライフラワーのリースや花束、トウガラシと月桂樹の葉のキッチンリースなどを作成し、ふれあい祭りで来場者へ販売し、リースの作成やハーブティー(レモングラス)、圃場での花摘み体験を楽しんでいた。



だいた。全体的に好評であったが、特に花摘み体験が大盛況で例年より大幅に収益がアップした。

- 知見・反省点等：

- ・ドライフラワーにできる花材中心の栽培になってしまうが、少しずつ違う種類の花を取り入れていきたい (今年度はカナリアナス、グラスジェムコーン、ルピナス)
- ・防草シートやマルチシートの活用により雑草取りの人出不足を解消したい
- ・毎回の研修予定をWebサイトに掲載し、研修に参加しやすいようにする
- ・種の購入から、播種、育成、定植、収穫と1年を通じた研修になるので、ある程度年間を通して参加すると知識や技術の習得があり、とても充実した研修になる
- ・植物関係の講習会をより多く開催したい

★時々でも大丈夫です。多くの方の積極的なご参加をお待ちしています！

## ＜果樹班＞活動報告

H29年度果樹班のFU研修は、年間22回実施し延べ325名の参加がありました。

今年度の活動は、協力農園の荒井農園・北村農園・鳥山園・よこはまあさひブルーベリーの森・社団法人グリーン及び支援センター内圃場にて実施しました。

今年度から支援センター内の講義及び実習の回数を大幅に増加した結果、参加人数が大幅に増加しました。

FU研修を通じて、果樹栽培を楽しみながらスキルアップできますので、気楽に参加してください。

また、会員相互の交流の場となり、援農情報交換等により、援農に参加しやすくなると思いますので、皆様の積極的な参加とご協力をお願い致します。

回	月	日	曜日	実績	場所	人数	講師
1	3	29	(水)	ナシの年間管理と摘蕾（主に講義） ナシの芽の整理	支援C内圃場	15	鈴木雄大（センター職員）
2	4	5	(水)	ナシの花摘み・摘蕾	支援C内圃場	10	鈴木雄大（センター職員）
3	4	26	(水)	ナシの予備摘果（豊水、新高ほか）	支援C内圃場	17	鈴木雄大（センター職員）
4	5	15	(月)	カキの摘蕾	荒井農園	7	新藤十三八（会員）
5	5	17	(水)	小ウメの収穫 ブドウの年間管理と房づくりナシの 予備摘果（新水）	支援C内圃場	21	鈴木雄大（センター職員）
6	5	24	(水)	ウメの収穫 ブドウの房づくり（高墨・藤稔）	支援C内圃場	13	鈴木雄大（センター職員）
7	5	31	(水)	ブドウの予備摘粒（藤稔） ナシの本摘果（幸水）	支援C内圃場	10	鈴木雄大（センター職員）
8	6	7	(水)	ブドウの本摘粒（藤稔）	支援C内圃場	14	鈴木雄大（センター職員）
9	6	14	(水)	ブドウの本摘粒（高墨） ブドウの副梢管理（主に講義）	支援C内圃場	14	鈴木雄大（センター職員）
10	7	12	(水)	ナシの夏季管理（新梢誘引）（幸水） ブドウの夏季管理・巻きひげとり	支援C内圃場	22	鈴木雄大（センター職員）
11	8	30	(水)	ウメの夏季剪定 ブドウの収穫体験（藤稔）	支援C内圃場	19	鈴木雄大（センター職員）
12	9	5	(火)	ウメの夏季剪定	荒井農園	13	新藤十三八（会員）
13	9	11	(月)	ウメの夏季剪定	北村農園	11	新藤十三八（会員）
14	11	8	(水)	落葉果樹の剪定基礎（座学）	支援C会議室	17	鈴木雄大（センター職員）
15	11	9	(木)	ウメの冬季剪定	荒井農園	12	新藤十三八（会員）
16	11	15	(水)	ウメの冬季剪定	支援C内圃場	21	鈴木雄大（センター職員）
17	11	16	(木)	ウメの冬季剪定	北村農園	15	新藤十三八（会員）
18	12	5	(火)	ブドウの冬季剪定	支援C内圃場	23	鈴木雄大（センター職員）
19	12	12	(火)	ナシの冬季剪定	鳥山園	19	鈴木雄大（センター職員）
20	1	16	(火)	ブルーベリーの冬季剪定	ブルーベリーの森	9	金子明美（園主）
21	1	22	(月)	カキの冬季剪定	(法人)グリーン	8	新藤十三八（会員）
22	1	30	(火)	カキの冬季剪定	荒井農園	15	新藤十三八（会員）



果樹班 干川記

## <野菜班>活動報告

平成 29 年度の野菜班活動回数は、1 月末時点で 28 回でした。活動日は比較的良好な天候に恵まれましたが、参加した会員数は延べ 360 人で昨年（408 人）より少なく、特に新会員の参加が極端に少なかったことが懸念されます。

栽培した野菜は、長ネギ・ラッカセイ・レタス・ブロッコリーなど 11 種類でした。秋口の降雨や天候不順も響き、野菜の生育は順調とは申せませんでした。タマネギ・ジャガイモ等の一般販売用の作物は何とか収穫を確保し、皆さんに喜んでもらえました。本年度新たに栽培したパン用小麦は、会員さんの栽培協力も得て大量の収穫を得ることができ、脱穀・ふるい分け・乾燥等大変苦労しましたが、会員の方々への販売でおいしいパンが焼けると好評でした。

11 月のふれあい祭りでは長ネギ・ラッカセイの「こども収穫体験」を午前・午後の部に分けて実施しました。今年は両作物とも様々な問題で収穫量が少なかったため、組数を絞って結果的に昨年の 50%程度の 70~80 組の親子連れに収穫を楽しんでいただきました。今年新たに栽培した超大粒のラッカセイは収穫物の補充に使い、大変喜んでいただきました。

今年も継続して毎月の「FU 研修報告」と次月の概略予定を「はま農楽」ホームページに投稿しました。本年も会員の皆様のご協力が無事活動を遂行できましたことを感謝申し上げます。来年度も FU 研修を通じて、援農や農と緑を守る活動の技術力アップを図りたいと思います。多くの皆様のご協力とご参加をお待ちしています。

野菜班 井戸・勝田・渡邊記

## <二次加工班>活動報告

### 11 月に実施したコンニャク作りの概要を報告します。

1. 日時&場所：11 月 29 日（水）9 時~14 時、培養室
2. 参加人数：14 名
3. コンニャク芋：圃場での栽培品（3 年物）と会員からの提供品（4 年物）を使用  
\* 圃場での栽培はまあまあでしたが草取り作業が多く、大変苦労しました。来年からはマルチの活用を考慮します。
4. 凝固剤：群馬県のコンニャク芋取り扱店より入手
5. 作業概要
  - (1) 2 班に分かれて実施 全行程手袋着用
  - (2) 芋の皮を剥き 1 cm 角程度に切る
  - (3) お湯と混ぜてフードプロセッサーとミキサーにかけ、拡販後適当な時間放置
  - (4) コンニャクを手で練り、糸を引くまで実施
  - (5) 凝固剤の溶液を一気に入れ、手で強力に練る
  - (6) バットに入れて空気を抜き、型を作る
  - (7) 適当な大きさに切り、沸騰したお湯に入れて茹でる
  - (8) 茹で上がったら放置し、コンニャクが熟成して弾力がでる
6. 試食  
昨年二次加工で作った味噌と会員から提供されたゆずにてゆず味噌を作り、全員で試食した。美味しかったです、また会員から柿の提供があり一緒に食べました。
7. 反省点
  - (1) 仕込み量が多すぎたきらいがあり、次回要注意
  - (2) 期待したほど上手に凝固せず、何等かの方法で原因を究明したい

二次加工班 浅野記

# “横浜の農と緑を知るツアー” 報告

横浜の農と緑を多様なアングルから観ることで刺激を受け、様々な発想を見聞することで“農と緑の活動”を深める、横浜の農と緑を知るツアー。今年度も2回実施しました。

## 1. 横浜の農と緑を知るツアー 緑化フェア

「第33回全国都市緑化よこはまフェア」を見学し、花や緑、庭園などを見ながら、会員相互の交流を行いました。

◎実施日時：平成29年5月29日（月） 10～15時 くらい

◎主なコース：JR 関内駅 → 横浜市庁舎 → 横浜公園 → 日本大通 → 象の鼻パーク → 山下公園 → アメリカ山 → 港の見える丘公園 → フランス山 → 中華街（有志）

風薫る五月。“Garden Necklace YOKOHAMA”をキャッチフレーズにした緑化フェアを見学しました。まず、横浜市のフェア推進課の赤井さんに、緑化フェアの概要と見どころを、資料を参考にしながら解説していただきました。座学の後、外に出て環境活動支援センターの松木さんとともに、歩きながら、実際にフェアの花や緑、庭園について説明していただきました。日本庭園のある横浜公園、寄せ植えの印象的だった日本大通、様々な庭園が紹介されていた象の鼻パーク、絢爛豪華なバラが美しかった山下公園を回り、長いエレベーターで、色とりどりの花のあるアメリカ山へ上りました。ハンギングバスケットが展示されていた港の見える丘公園、新緑の綺麗なフランス山を、青天の中巡り、色々な形の花や緑を楽しみながら、会員同士の交流を行いました。



### ★参加者の声★

- フェア担当者の説明も含め、大変わかりやすく、充分満足できる企画でした。
- 緑化フェアの取組みが5年前から企画提案され、それから資材を調達する等、苦勞を知ることが出来ました。
- 案内して下さった推進課の赤井さん、松木さんありがとうございました。
- 美しい花、自然・・・充分満足

担当：大澤 記

## 2. 都築区東方・折本農業専用地区の畑を訪ねて

平成 29 年 12 月 8 日（金）9 時半に地下鉄仲町台駅前に 13 人が集合し“横浜の農を知るツアー”を開始しました。

はま農楽・会員で就農している井上さんは、野菜栽培販売・畑体験イベントや農業支援サポートを行っています。

多品種少量栽培の畑を見学し、就農経緯やこれからの目標などのお話をお聞きました。畑で昼食を取って時に収穫野菜の結束を実演頂きました。曇り空の寒い中、焼き芋や温かいコピーをご馳走になり家族的な雰囲気でお話が弾みました。

夏のトマト収穫や出荷準備のボランティア募集の声もありました。

また、午後からは隣の折本農業専用地区の加藤農園を訪ねました。

園主の加藤さんは堆肥作りにこだわって年間約 50 品目の野菜を育てております。堆肥舎前で堆肥作りの過程や管理について説明を受けたあとに小松菜畑に移動しました。肥沃な土に育てられた小松菜は艶々した濃い緑色が印象的でした。

サプライズで小松菜の収穫体験を行いました。

近くの「メルカートきた」や平本養鶏場に寄ながら農業専用地区を散策しました。

### 参加者の感想

- 農業を意欲的に始めた井上さん、とても生き生きとしていらっしゃる事に感心しました。
- 新しいビジネスチャンスを探してみたいです。
- こだわり堆肥を使って育てたおいしそうなお小松菜、今夜の料理で味わいます。
- 井上農園さんの説明は前向きのお話でとても参考になりました。私ももっともっと勉強してみようかと思いました。
- 安くて美味しい野菜を購入できてラッキーでした。まだまだ知らないことがいっぱいあります。これからも教えてください。
- 農業に関心があるので今回のツアーは良かったです。実際に見学したり話を聞いたりして実現を少しだけ知ることが出来たと思います。堆肥の話も興味があり参考になりました。何より農に関わる人達がいてくれる事は心強くと感じました。
- 花と緑コースの修了生なので野菜の知識は皆無と言ってもいいくらいの素人でした。参加者の皆さんはとても知識が豊富で質問も専門的で圧倒されるおもいででした。 あいにくの曇り空で寒い日でしたがとても楽しい一日でした。
- 就農、営農の具体例が伺えて興味深かった。また個人の取り組み以外に農地活用の現状と制度がわかり興味深かった。

- 寒中の見学でしたが、井上農園の農業に対する心いきが素晴らしかったです。いろいろな農業講座を受けて認定を受けられ挑戦されこれからの人生目標を作られお話も聞けて良かったです。
- 事前準備、パンフレット等を用意して頂き有難うございました。
- 東方農業専用地区を見学させてもらい風通しが良いので種類は忘れましたが、手入れしなくてもよいトマトがありました。普通ならダメになりそうですね！
- 折本農業専用地区も見学させてもらい、畑が高くなっていてやはり風通しが良く土が良いので小松菜の色がおいしそうでした。
- JAカードで買い物ができ、畑でも買えたのでとてもうれしかったです。
- 農作業をやるだけでなく、色々な作業や役に立つことがあることがわかりました。
- 意欲的な方が沢山いらっしゃる事が解りました。今回のツアーを計画して頂き有難うございました。
- 久しぶりの仲町台 “横浜農を知るツアー”に参加して清々しい空気を吸う事が出来ました。井上農園の見学・お話はとても勉強になりました。
- 今日は少し寒かったが、井上様・加藤様のお話を聞けて良かった。ツアーの季節が11月上旬ぐらいだったら良かった。

担当 西野記

### 【援農コーディネーター事業について】

横浜市と横浜農と緑の会（はま農楽）は、「横浜みどりアップ計画」に基づく、「援農コーディネーター支援事業」を、連携して実施しています。実施協定書を平成26年4月1日に締結し、事業期間は平成31年3月31日までの5カ年です。＜実施協定書（抜粋）は、第42号参照＞

農業従事者の高齢化や担い手不足など、農業を取り巻く厳しい状況により農地が減少しているという課題を認識し、行政と市民がともに「援農」をはじめとした農地保全活動に取り組んでいくという目的を共有して、このコーディネーター事業は行われています。

「通信」の発行などを通して、農家と援農者の情報収集と連絡調整を行うなど、人手不足の農家と援農ボランティアができる市民を結びつけ、農地の保全を図る、「はま農楽」と横浜市が協働で実施している事業です。取り組み自体は、平成23年度から開始しています。

## 環境活動支援センターから

はま農楽の皆様、いつも、ありがとうございます。たくさんの方が参加する組織の運営は、大変なことも多くあり、本当にお疲れさまです。今年も環境活動支援センターでの研修やイベントなどに意欲的に参加して活動する皆様の姿を拝見し大いに頼もしく感じました。昨年のは後半は長雨による日照不足など不安定な天候の中、市内各地で多くの援農や緑化活動などにご苦労されたことと思います。これからも会員の皆様が健康に十分留意され、会員相互の絆を増しながら元気に活躍されるようお願いいたします。今後も引き続き、支援センターの職員も皆でしっかりと支援してまいりますのでよろしくお願い致します。

環境活動支援センター長 境田康弘



天候が厳しい中、今年度も様々な活動に取り組んでいただき、ありがとうございました。

今後とも引き続きよろしくお願い致します。

担当係長 朝倉友佳 担当 松木綾子

## 桜の見本園を準備中です！

環境活動支援センター及び隣接の児童遊園地では、現在様々な工事が行われています。フォローアップ研修で皆さんが使用している研修圃場周辺も、配管等の工事でご迷惑をおかけしております。

様々な工事の中でも、センターが力を入れて行っている工事の一つとして、園内の桜の更新があります。樹木医とも相談しながら、回復が見込めない老木については伐採し、新しい桜を植栽中です。開花期の違う様々な種類を取り入れ、桜の見本園としてリニューアルする予定です。お楽しみに！



### ■ 編集後記 ■

皆様のご協力で、「はま農楽だより45号」が出来上がりました。例年同様、1年間を振り返って、イベントや各班の活動を報告して頂きました。今年度は、秋の視察研修会を中止しましたが、ふれあい祭り、収穫感謝祭などのイベントも楽しくやる事が出来ました。これは皆さまのご支持とご理解を頂けたことと考えますが運営委員不足ですので皆様の応募をお願いします。  
(広報担当 三沢)

### ■ 編集・発行 ■



横浜農と緑の会

はま農楽

〒240-0025 保土ヶ谷区狩場町213

横浜市環境活動支援センター内

TEL 711-0748

FAX 711-0748

E-mail : [gqrx4zfd@bird.ocn.ne.jp](mailto:gqrx4zfd@bird.ocn.ne.jp)

HP:[http://hamanora.sakura.ne.jp/index\\_hamanora.html](http://hamanora.sakura.ne.jp/index_hamanora.html)